

最終講義その2 問題は何か。

九大に在籍中、地域を担うリーダーのネットワークを作りました。
また官民連携事業を実践し、社会に新しい価値を生み出すアントレプレナーの育成にも携わりました。

その10年間で日本の課題は解決に向かったか。むしろ逆に深刻化しています。
人口はさらに減少し、地方では多くの自治体が消滅しようとしています。また、世界で進むイノベーションに対して大きく後れを取っているのに、多くの人が気が付いていない。
これは私の危機感を一層強めています。

この処方箋として国は、地方創生総合戦略を策定するよう、すべての自治体に一律指示しました。しかし、1800もの自治体がバラバラに総合戦略を作っても、それって総合戦略と言えるのか、私は大変疑問に思います。

問題は3つ。

第1、地域全体のことを考える人がいない。

第2、現場の発想が反映されていない。政策が自分ごとでなく他人事になっている。

第3、社会にイノベーションを受け入れる対応力がない。既存秩序の守りに徹している。

今問題なのは・・・

人口減少

地方経済の疲弊

国際競争力の低下

全体設計図がない

地方創生総合戦略

1800自治体が
皆「総合戦略」？

総合
戦略

総合戦略

総合戦略

総合戦略

総合戦略

戦略

戦略

戦略

戦略

戦略

問題は

地域全体のことを考える司令塔がない。

自分ごととして現場で責任をとらない。

既存秩序に籠り、新事態に対応できない。